

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組などについての情報をお届けします。

- 1：【高校の特色ある取組】
- 2：【学校紹介スペシャル】
- 3：【コラム】

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

「見つけよう、自分の目指す学び！」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010tobira/tobira.html>

■ もくじ ■

1：【高校の特色ある取組】

- (1) 白石工業高等学校
＜東北工業大学の先生による授業＞
- (2) 農業高等学校
＜目指せ！未来の農業スペシャリスト＞
- (3) 築館高等学校
＜食の自立に向けた調理実習「食育推進モデル事業」に取り組む！！＞

2：【学校紹介スペシャル】

- (1) 仙台第二高等学校
＜北陵の風のそよぎ＞
- (2) 中新田高等学校
＜勉学と行事・部活動を高校生活で思いっきり楽しもう！！
～恵まれた自然環境・施設による盛んな部活動＞
- (3) 石巻好文館高等学校
＜共学化から5年目、女子はもちろん男子の部活動も結果を出してます！＞
- (4) 気仙沼向洋高等学校
＜夢の甲子園まであと一歩！＞
- (5) 東松島高等学校
＜三部制・単位制～「自由」の中で「ジリツ」を学ぶ学校＞
- (6) 貞山高等学校
＜燃える部活動！多くの部が全国大会出場＞

3：【コラム】

- (1) 泉松陵高等学校 生徒会長 2年 豊洲 歩
＜学校紹介＞

(2) 仙台東高等学校

＜学校紹介＞

(3) 水産高等学校 教諭 若松 英治

＜何が海へと駆り立てるのか！？＞

4：【編集後記】

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 白石工業高等学校

｜ ＜東北工業大学の先生による授業＞

年間を通して、東北工業大学の先生方に本校で大学の授業を行っていただいております。これは、宮城県でも初の試みで大学進学希望の生徒や内容に興味のある生徒が、最新の研究に基づいた講義を放課後に受けることができます。今年で3年目になります。

○大学の授業を高校で体験できます

○開催される講義の内容は評判の高いものばかり

○最先端の技術や情報を知ることができます

○大学で実験を体験できたり、施設を使用することができます

○希望学部の決定に役立ちます・大学入学後のミスマッチが防げます

○提出したレポートに担当教授から評価を受けることができます

○専門分野に関する疑問に答えてくれます

○受講終了後に「修了証」が交付され、単位が認められます（大学進学時）

◆今後の講義予定

10月 5日 「地球温暖化と省エネ建築」

10月26日 「メカトロニクスと医療福祉支援への応用」

11月 4日 「デザインってなに？」

12月 7日 「水と風の工学」

1月 7日 「キャリアデザインセミナー・
人生ゲームを活用したキャリア教育」

→ ＜ホームページはこちら＞ <http://shiroishi-kougyou.myswan.ne.jp/>

□ 宮城県農業高等学校

｜ ＜目指せ！未来の農業スペシャリスト＞

本校は昨年から文部科学省「目指せスペシャリスト事業」の研究指定校となり、3年間の継続研究を行っています。その主な内容は、農業科作物専攻班の環境に配慮した安全・安心な宮城米の栽培方法の研究と、食品化学科食品製造班の本校産の米粉を利用した加工食品の開発研究です。昨年度、家庭用ドライヤーやミルを用いて手軽に米粉をつくる技術に挑戦し、その自家製米粉を用いたピザやスイーツを試

作したところ、東北農政局主催のスイーツコンテストに見事入賞することができました。今年度は更に高性能の製粉機を導入し、高校生の情熱と感性を込めた新しい商品開発に取り組んでいます。皆様の笑顔あふれる明るい食卓に、宮農ブランドが色を添える日を夢見て・・・。

◎お母さんも喜ぶ、「宮農祭」間もなく開催！

生徒の日頃の学習の成果を広く地域の皆様に紹介する「宮農祭」が開催されます。今年のテーマは「農魂」です。恒例の農産物販売や文化部等の発表会など盛りだくさんです。皆さんふるってご参観ください。

【一般公開】日時：10月30日（土）9時30分～14時

→ <ホームページはこちら> <http://www.miyanou.myswan.ne.jp/>

□ 築館高等学校

| <食の自立に向けた調理実習「食育推進モデル事業」に取り組む！！>

本校は平成17年度に築館高校と築館女子高校が統合し、今年で6年目を迎えました「共助・研鑽・進取」の校訓を日々実践に移すべく、生徒は学習や部活動に熱心に取り組み、青春を謳歌するとともに、将来の自分の構築に向けて励んでいます。平成19年度から3年間「進学指導地域拠点形成事業」の指定を受け、生徒の学習意欲を引き出す質の高い分かりやすい授業、英語・数学での少人数指導等、学力に応じたきめ細かな指導を徹底するなど、進学はもちろん多様な進路に合わせて充実した進路指導を行っています。また、この事業は今年度から3年間新たに継続事業となっています。

その中であって、この春に栗原市から「食育推進モデル事業」の指定を受け、思春期の「食の自立に向けた望ましい食習慣の育成」のために、「バランスのとれた食事」について学んだり、栗原市の栄養士や地域の食生活改善推進員の指導協力を得て、調理体験などに取り組んでいます。食の危機が叫ばれて久しい中、食を含めた自立した大人を目指して楽しい学校生活を送っています。

→ <ホームページはこちら> <http://tukiko.myswan.ne.jp/>

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 仙台第二高等学校

| <北陵の風そよぎ>

仙台二高は、市の中心部から西にバスで十数分、広瀬川に架かる仲の瀬橋を渡ったところ、宮城県美術館、仙台市博物館、仙台国際センター、東北大学など、文化教育施設が集中している地区の一角を占めています。鬱そうとした樹木に囲まれて静かにたたずむ校舎は、溢れんばかりの緑に埋もれてちょっと見過ごしてしまうかもしれませんね。

明治33年の創立で、創立110周年の今年は様々の記念事業が計画され、実行に移されています。28,000名を超える卒業生が様々な分野で活躍しており、なかでも学問の世界で活躍なさる方が目立ちます。あまり知られていない事実ですが、日本学士院賞受賞者が5人というのは全国的にも類を見ない快挙といえるでしょう。

それでは現在の仙台二高を紹介します。

1 生徒の構成

定員は1学年320名で現在の在籍数は955名（女子は293名）です。2年生からは文理別のクラス編成になります。

2 教育課程

授業は1時限45分で、週5日のうち3日を7時限、2日を8時限で授業を行っています。授業内容はどの教科も高度で、とくに3年生になるとそれはもうハードの一言ですが、学問の真のすばらしさを味わうことができるのは、二高ならではのといえるでしょう。

3 部活動

本校では、骨太な人間形成のためには、学業と部活動の両者を等しく追求することが不可欠であるという信念に基づき、現在、運動部22部、学芸部15部に加え、18の愛好会が活発に活動しています。これは本校の先輩である柔道家三船久蔵十段の「文武一道」の精神を脈々と受け継いでいるからです。

運動部は、いずれもたいへん熱心に活動しており、東北大会や全国大会に進出する部も珍しくありません。今年度は陸上部、フェンシング部がインターハイ進出を果たしています。

学芸部の活躍にも目を見張るものがあります。特に囲碁部、写真部などは種々の全国クラスの大会で入賞しています。

学業と部活動の両方に青春のエネルギーをぶつけたいと思っているなら、二高はそれに応えることのできる学校です。

4 主な学校行事

- 4月 大運動会
- 5月 仙台二高・一高定期戦
- 6月 芸術鑑賞会
- 7月 岩手山登山（1年生）
- 8月 北陵祭（文化祭）
- 10月 秋季体育大会

5 生徒会活動

生徒会の自発的な運営ぶりも特筆に値します。年2回の総会では自由で白熱した議論が展開され、また12ある委員会活動も活発に活動しています。また、北陵祭における北陵祭実行委員の活躍ぶりは、よき伝統として毎年引き継がれています。

6 卒業生の進路状況

毎年100名程度（現浪あわせると200名以上）が、地元の東北大学を始め、東京大学、京都大学などの難関国公立大学に進学しています。医学部医学科への進学も年々増加しています。

二高のイメージがつかめたでしょうか？

熱いハートを持つみなさんの入学を、私たちは歓迎します。それでは来年の4月に会いましょう。がんばって！

→ <ホームページはこちら> <http://www.sen2-h.myswan.ne.jp/>

□ 中新田高等学校

| < 勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり楽しもう！！
| ~恵まれた自然環境・施設による盛んな部活動>

本校では、生徒は運動部・文化部のいずれか1つに必ず加入することになっており、運動部には男女合わせて約60%が加入しています。体育館2つ（バスケット・バドミントン・バレー・卓球）と武道館（空手）、さらには隣に広大な河川敷公園があり、野球・サッカー・陸上・硬式テニス・女子ソフトボールがそれぞれ専用に練習できるスペースを持っているなど、他校にはない恵まれた環境の下、練習に励んでいます。特にカヌーや空手は常に全国的な活躍を見せ、女子硬式テニスも近年は東北大会へと駒を進めています。

* 部活動の主な活躍（平成22年度）

カヌー部：日本カヌースプリントジュニア選手権・男子カナディアンフォア
200M優勝、

東北総体カヌースプリント競技・少年男子カヤックシングル第2位

女子硬式テニス部：県総体団体2位、女子ダブルス3位（以上東北大会出場）

吹奏楽部：全日本吹奏楽コンクール宮城県大会銀賞

宮城スキット甲子園：第2位

その他の運動部や文化部も、日々熱心に練習に取り組み活躍しています。勉強と両立させながら、部活動に青春をかけるというのが中高生（なかこうせい）のスタイルです。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

→ < ホームページはこちら > <http://www.nakani-h.myswan.ne.jp/>

□ 石巻好文館高等学校

| < 共学化から5年目、女子はもちろん男子の部活動も結果を出しています！ >

石巻好文館高校は、平成18年度に共学化し、一昨年度には男子の卒業生も出しました。5年目を迎えた今年は、女子はもちろん男子の部活動も活発です。

★硬式野球同好会をはじめとした男子部活動が盛り上がっています★

創部3年目を迎えた硬式野球同好会は、夏の甲子園予選大会初勝利を目指して名取高校と対戦しました。一進一退の攻防は7対7で延長戦に突入。残念ながら8対10で惜敗しました。負けはしたものの、可能性を感じる試合でした。新チームで臨んだ秋季地区大会においては、トーナメント本選における初勝利を挙げました。秋の生徒総会で認められれば部への昇格も予定されており、今後も活躍が期待されます。

その他、県総体においては男子剣道が個人ベスト8で東北大会出場。男子陸上競技で400mHと円盤投げで東北大会出場。男子弓道団体4位（総的中数は決勝進出5校中1位）や男子ソフトテニス団体ベスト8など数々の男子部活動が結果を残しております。

★今まで通り女子の部活動は質の高い活動をしています★

共学化されても、女子の部活動の質は変わっておりません。陸上競技・空手道・水泳で東北大会出場。ソフトボールのベスト8、バスケットボール・卓球のベスト16をはじめ、数々の部活動が活躍しております。

進学型単位制高校になりましたが、「好文好武」を合い言葉に文武両道を目指していくことは継続して取り組んでいきます。石巻好文館高校は、勉強に部活に頑張る君たちを応援します。

→ <ホームページはこちら> <http://www.koubunkan.myswan.ne.jp/>

□ 気仙沼向洋高等学校

| <夢の甲子園まであと一歩！>

夢の甲子園初出場まであと一歩と迫った硬式野球部，インターハイ・国体に出場し全国の舞台で快走したヨット部を中心に，今年の本校は部活動の活躍で大いに盛り上がりました。サマーカップで優勝し春高バレーの県予選ベスト16にコマを進めている男子バレー部，花園へ向けてばく進するラグビー部，東北大会出場の相撲部と，その活躍は挙げればきりがありません。

本校はもともと部活動が大変盛んな学校です。上にあげた部活動のほかにも多くの運動部が，厳しくも活気あふれる練習で心身を鍛え，県大会などの大舞台でその力を見せています。また文化部も，各種競技会等で活躍するハイテククラブや優れた作品を数多く作り出している写真部，プロ顔負けの演奏で観客をとりこにする軽音楽部，地域の方々とともに様々なボランティア活動を行っているVFC同好会などが日夜楽しく活動しています。

好きな部活動に青春を賭けたいと思っている中学生の皆さんも，やりたいこと探しの途中にいる中学生の皆さんも，本校教職員は熱い心で歓迎します。たった3年間の高校生活です。皆さんの情熱を本校で燃やしてみませんか！！

→ <ホームページはこちら> <http://www.kkouyo-h.myswan.ne.jp/>

□ 東松島高等学校

| <三部制・単位制～「自由」の中で「ジリツ」を学ぶ学校>

【三部制】Ⅰ部（午前），Ⅱ部（午後），Ⅲ部（夜間）いずれかの部に所属し，所属部を中心に1～12時間目まで展開されている授業の中から，自分だけの時間割を作ります。

【単位制】1，2，3年生…という学年制をとらず，3年以上在籍し，74単位以上修得すれば卒業できます。1年目に何単位取るのか，どのような科目を選択するのかなど，1人1人の進路目標に応じた幅広い授業の選択が可能です。

【社会のルールが学校のルール】細かい校則や制服はありません。自分の行動や服装が，周りの人たちや活動場所，そして「社会人」としてふさわしいものかどうかを考えて行動します。

◇生活時間や進路・興味に合わせた時間割を自分で作成します。授業ごとに教室を移動し，チャイムも鳴りません。ストレスを感じさせない，ゆったりとした時間が流れます。

◆卒業生からよく聞くのは，「自由だけど，楽ではない」ということです。自分で選んだ授業に自分で向かわなければ，単位修得や卒業はできません。「夢」の実現は，「自由」の中で，自分が何をすべきか考え続けることです。このような環境の中で，卒業生たちは「自立」と「自律」を身につけ巣立っていきました。

→ <ホームページはこちら> <http://www.higashi-matsushima.myswan.ne.jp/>

□ 貞山高等学校

| <燃える部活動！多くの部が全国大会出場>

今回は中学生諸君にとって大変興味深い「部活動」についてお話しします。本校は定時制高校では珍しく部活動の時間が確保されています。

昼間部は平日9：15～10：30，水曜日はさらに15：20～17：00，夜間部は20：40～21：30が活動時間です。1年次は全員登録，2年次以上は自由登録です。昼夜合同チームで多くの部が全国大会に出場しています。

【平成22年度定時制通信制体育大会 県大会結果】

[優勝]

- 軟式野球
- バスケットボール（男・女）
- バドミントン（男・個人，女・団体）
- 卓球（男・個人・団体，女・団体）
- バレーボール（男）

[第2位]

- 卓球（男・個人）
- 柔道（個人・重量級）
- 剣道（男・個人）

[第3位]

- バドミントン（女・個人）
- 卓球（女・個人）

[入賞]

- 陸上（女・個人3名）

【NHK杯全国高校放送コンテスト 宮城県大会】

[優秀賞]

- 放送（テレビドキュメント部門）

【平成22年度定時制通信制体育大会 全国大会結果】

[第3位]

- バスケットボール（女）

[ベスト8]

- バスケットボール（男）
- 柔道（団体選抜チーム）

[ベスト16]

- バレーボール（男）
- バドミントン（男・個人）

【NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会】

[準々決勝進出]

- 放送

今年度もこのように輝かしい成果を挙げました。練習の時間が確保され，日々の熱心な活動が実を結びました。

本校への入学を考えている生徒諸君，「部活動で燃えてみませんか？」

→ <ホームページはこちら> <http://www.teizan.myswan.ne.jp/>

■ 3 コラム ■

高等学校の校長先生，一般の先生，生徒代表などが，「我が校」に対する想い，最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 泉松陵高等学校 生徒会長 2年 豊洲 歩
| <学校紹介>
└

我が泉松陵高校は，校舎のすぐ裏に県民の森が広がっており，自然に囲まれた豊かな環境の中で学校生活を送ることができます。

授業は1時限65分で行っており，他校に比べ長めですが，その分1つ1つの授業の内容が濃く，丁寧にわかりやすく指導していただけます。初めは今までより長い授業時間に慣れないかもしれませんが，回数を重ねるごとに集中力が増し，学習に励むことができます。近年，4年制大学，特に国公立大学への進学率が上昇しており，県内でも高い進学率を誇っております。本人の努力次第で，どんな大学でも合格できる学力を，本校で身に付けることができます。

本校では様々な学校行事を行っております。主な行事としては，4月の入学式，新入生と上級生との対面式，5月の泉三校定期戦，7月の松陵祭，8月の球技大会，10月のマラソン大会，12月の修学旅行（2学年），そして3月の卒業式等があります。

三校定期戦は，泉館山高校，泉高校，そして泉松陵高校の三校が優勝を目指し，運動部ごとに争うという非常に盛り上がる行事です。普段はあまり見ることでできない友人の活躍を見ることができ，運動部にとっては高校総体の前に日頃の練習の成果を発揮する絶好の機会でもあります。閉会式の後に行われる「泉和エール」は応援団を中心に三校が一体となり，定期戦のラストを華々しく飾ります。

松陵祭は，毎年学校全体が盛り上がる一大行事です。1日目にはパフォーマンス大会が行われ，3年生を中心に各クラス毎の発表や有志団体によるダンス等で松陵祭を盛り上げます。2日目の一般公開では，様々な趣向を凝らした有志団体の模擬店や，文化部による展示，発表などがあり一日中楽しむことができます。

球技大会では，各クラスが一致団結し，バスケットボール，サッカー等の競技で競います。クラス毎にオリジナルのTシャツを作り，学年を超えて行われる試合では，選手も応援の生徒も一体となって優勝を目指します。

部活動は各部精力的に活動しており，様々な功績をあげています。今年は特に，弓道部が女子団体戦においてインターハイ出場を果たしました。これが良い刺激となって，各部の活躍につながることを期待されます。

校内では，生徒は日々和気あいあいと過ごしております。時には生徒のみでなく，先生方も交えて楽しい休み時間を過ごすときもあります。生徒と先生方の距離が近く，進路や学習についての相談もしやすいので，困った時には非常に心強いです。

みなさん，この恵まれた環境にある泉松陵高校で，楽しく充実した高校生活を送ってみませんか。在校生，教師陣一同みなさんの入学を心よりお待ちしております。

→ <ホームページはこちら> <http://www.shoryo.myswan.ne.jp/>

□ 仙台東高等学校

| <学校紹介>

前期末考査が終了した翌日、10月1日に後期始業式が行われました。まだまだ気温は高いものの、生徒の服装が紺色のブレザーに替わり秋の始まりを感じさせます。

始業式では、各大会における入賞者の紹介がありました。運動部では陸上競技部 県新人戦で、2年女子部員が走り幅跳びで第1位、2年男子部員が三段跳びで第3位になりました。文化部では、吹奏楽部が全日本マーチングバンドコンテスト（県大会）で銀賞を受賞しました。それ以外にも国際弁論大会での入賞や校内ボキャブラリーコンテストでの満点の生徒への表彰などがありました。

熊谷校長先生は、これらの活躍をたたえとともに、4月に述べた「ワンランクアップ＝一歩上を目指そう」が仙台東高校で着々と進んでいることに触れ、生徒諸君は大いに自信を持って欲しいと話されました。また、ある人気歌手のエピソードに触れ、将来自分が目指す目標を掲げそのために「今なすべきこと」「1年後にすべきこと」などの具体的な項目を挙げるのが大事であるとの話をされました。

東高校の周辺の田んぼも収穫が終わり、いよいよ秋本番に移ります。

→ <ホームページはこちら> <http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

□ 水産高等学校 教諭 若松英治

| <何が海へと駆り立てるのか！？>

突然ですが、みなさんは、石巻市渡波にある、サン・ファン・パウティスタ号をご覧になったことはありますか？この4月に宮水の情報科学科に赴任した私は、つい先日、長い間気になっていたこの船を観覧してきました。

この船は日本初の和製西洋軍船です。思っていた以上に大きな木造船で、圧倒されました。そして、この船で3ヶ月かけてメキシコまで航海したということは、想像すればするほど、すごいことだと感じられてきました。何ヶ月もの間、命がけの航海生活をするのは、私なら気が狂うかもしれません。

ふと本校に目をむけてみると、本校では、実習船「宮城丸」で約2ヶ月、ハワイ沖を航海する実習があります。この実習で、自分の生活を振り返り、普段いかに便利な生活を送り、食べたいものを食べ、たくさんの人たちに支えられてきたのかを実感するそうです。そして、ハワイに着くと滞在先に家族からの手紙が届いており、その手紙をじっくり見つめ、何度も繰り返し読み、涙する生徒もいるということです。何が海へと駆り立てるのか！？ この「ロマン」を知りたければ、宮水へ！海は少年を「漢（おとこ）」にするのだそうです。

→ <航海のロマンはこちら> <http://www.miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

■ 4 編集後記 ■

今年度に入って4号目の「高校教育課 情報メール」第19号をお届けします。今回は、県内の高等学校の特色ある取組や学校紹介スペシャルなど多くの県立高校の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

中学生の皆さんにとって、どの高校を選ぶかは最も悩む問題だと思います。「高

校教育課情報メール」が、皆さんの高校選択に少しでもお役に立てるよう、内容をさらに充実させていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696